

■新年のごあいさつ

会長 小林 建夫

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染が治まらない状況下ではありますが、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。令和4年の年頭にあたり貴家の益々のご繁栄とご多幸をお祈りいたします。



昨年は、一昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により第5波の緊急事態宣言が発令され多くの諸行事が中止・延期・縮小された他、飲食店の営業時間の制限、外出の自粛制限などにより経済が低迷するなかにおいて、東京オリンピック・パラリンピックが制約を受けながら無事に開催されたことや、アメリカ大リーグで大谷翔平選手が大活躍するなどの明るい話題もありました。

我が応援団におきましては、コロナ禍の状況下において一昨年の総会の中止に引き続き昨年の第20回の総会も中止することとなり、また、今年の新年親睦交流会もやむを得ず中止することにしました。コロナウイルス感染により2年ほど諸活動が停止状態となっておりますが、

会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしたでしょうか。昨年の後半には新規感染者が減り明るい兆しが見えましたが、再び年末から新年にかけてウイルスの変異株によるオミクロン株の感染者が確認され感染の拡大が危惧されているところです。一刻も早く新型コロナウイルスの感染が終息し今年の総会が開催され皆様にお会いできることを願っております。

ふるさと木島平村においても一昨年に引き続き昨年も新型コロナウイルスの感染により夏祭りの中止を始めイベントの中止や規模の縮小により多大な影響を受けております。このような状況において我が応援団として村へどのような支援が出来るかを検討して行きたいと考えています。

会報第222号でご案内致しましたが、昨年の11月に開催した役員会において一昨年と同様に第20回定期総会での議決事項と役員改選は次期総会まで暫定役員とすることでの議決されましたので、ご了承願います。

最後となりましたが、新型コロナウイルス感染が治まらない状況下にあります。会員の皆様にとって健康で明るい年でありませうと祈念し年頭のごあいさつとさせていただきます。

## ■村内各地で「どろうろくじん」が行われています

1月の連休にかけて、無病息災を願う「道陸神(どろうろくじん)」が村内各集落で行われています。昨年は新型コロナウイルスの影響で、中止した地区もありましたが、今年は多くの地区でコロナも含め、無病息災を願う意味でも、開催がされました。

この「道陸神」は、小正月にあたるこの時期に村内の各地区で行われ、「道祖神」「どんど焼き」などともいわれています。

木島平村では、秋にカヤ刈りをして「道陸神」を作っておくため、12月〜1月にかけて、あちこちに「道陸神」の立つ姿を見ることができます。

当日は、カヤで作られた道陸神から勢いよく炎が燃え上がると同時に火の粉も高々と舞い上がり、子どもたちの書初めや、米団子などを火にあぶりながら、無病息災、家内安全、学業成就を願います。



1月9日中村区の道祖神の様子



## ■東日本で初の発見「三韓土器」

木島平村の根塚遺跡(県史跡)から出土品の中から、弥生時代後期の韓半島(朝鮮半島)で焼かれた土器「三韓土器」が確認されました。三韓土器は、北部九州で多く発見されておりますが、東日本、加えて、北信濃という内陸部での発見はこれまで例がありません。また、根塚遺跡からは、同じ時代に朝鮮半島で作られたとみられる「渦巻文装飾付鉄剣」も出土しています。これらは当時の朝鮮半島とのつながりを示す貴重な資料となり、村はさらに調査を進めていく方針です。

詳しくは同封の広報1月号の4〜5ページに掲載していますので、ぜひご一読ください。なお、土器は農村交流館内のふるさと資料館に展示されています。



発見された土器の欠片



記者会見当日は取材カメラが殺到

### 会報原稿募集中!

【毎月5日までに左記へご送付ください。】

【送付先】〒389 2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局

FAX 0269 824121

✉ seisaku@vil.kijimadaira.lg.jp